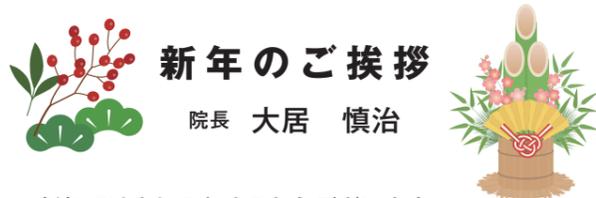




(写真左：松江市立病院 入江隆院長、写真右：大居院長)



新年のご挨拶

院長 大居 慎治

新年明けましておめでとうございます。
世の中IT活用やデジタルトランスフォーメーション(DX)の話題に溢れています。中でも病院、診療所や薬局、介護の現場との間で患者データなどのやり取りが可能になるシステム作りが進んでおります。
昨年12月からは新たに健康保険証が発行されなくなり、マイナンバーカードに移行していくことになりました。大きなメリットは、高額医療の限度額以上の支払いの免除が面倒な手続きなしにすぐに受けられることです。近い将来には個人の医療データすなわち3文書・6情報と呼ばれる<診療情報提供書、入院時カルテの要約、健康診断報告書、傷病名、アレルギー情報、感染症情報、薬剤禁忌情報、救急時に有用な検査、処方情報>が全国の医療機関で利用できるようになります。国はこのような健康医療サービスのネットワークを2030年頃に完成させることを見込んでおりますが、まだまだ時間がかかりそうです。
一方で島根県にはローカルな医療情報ネットワーク「まめネット」が既にあり、今すぐに利用ができます。患者さんのメリットとしては、国のネットワークよりもさらに詳しい情報一例えは内視鏡、CTやMRIに代表される画像情報やもっと詳しい検体検査情報が他の医療機関で見ることができ、無駄な検査を省くことも可能になります。
昨年12月には、松江市立病院とまめネットおよびマイナンバーカード利用促進のキャンペーンを行いました。手続きは無料で簡単ですので、これを機会に多くの方々にまめネット登録をお願いしたいと思います。

「まめネット」とは?

「まめネット」は、島根県が整備した医療情報ネットワーク。県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、薬局、介護施設などが参加し、患者さんの診療情報(処方、血液検査、結果など)を共有することで、より質の高い医療サービス・介護サービスを提供することを目的としています。

放射線科よりお知らせ

新たなX線CT 「Revolution APEX Power Core」を導入!

2024年12月23日より、最新のX線CT装置の稼働を開始いたしました。本装置は、大幅に性能アップした256列X線CT装置です。現在、装置は順調に稼働しており、安心してご利用いただける状態です。

新たな機器の特徴・メリット

検査環境の改善!

- ▶ 明るい検査室・撮影時の騒音が静かに
- ▶ 装置の開口部が80cmに拡大し、圧迫感が低減

大幅な性能アップ!

- ▶ 全身の広い範囲を3~4秒で高速にスキャン
- ▶ 息止めが出来ない方や、動いてしまう方にも対応
- ▶ 最新AI技術で、画質の向上と被ばく低減を両立
- ▶ 心臓CT検査の改善。これまでは検査が難しかった高心拍や不整脈の方であっても質の高い検査が可能に

心臓CT検査の画像で比較



最新装置の性能を活かし、地域の皆さまの健康を支える医療に貢献してまいります。また、皆さまに安心してご利用いただける診療環境を提供するため、引き続き努力を重ねてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

放射線科部長 大内泰文
放射線科CT検査室 山城圭進・新崎英貴・大野椋



最新AI技術で画質が向上!
より鮮明に写るようになりました



■病院理念……わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- 1 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- 2 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
- 3 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- 4 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- 5 教育病院として次世代の医療人を育てます。

+ 松江赤十字病院『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ①自分の健康に関する正しい情報の提供
- ②医療への積極的な参加
- ③病院の規則を守ること
- ④研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力

患者さんのメリット

- 01 安全性** > 少ない出血量、神経などの機能温存に優れており、合併症の少ない手術が可能です
- 02 確実性** > 拡大3D映像と自由に動く鉗子で確実な手術ができ、術者の技量を向上させます
- 03 低侵襲性** > 小さな傷で身体への負担が少なく、術後合併症が軽減します
- 04 早い回復** > 身体に優しく術後の回復が早いいため、早期の社会復帰が可能です

ロボット支援手術とは



手術支援ロボットダビンチの特徴は、以下の5点です。

- ① 3Dカメラで細部まで鮮明に観察できる良好な視野
- ② 7つの関節が可能にする自由で精緻な操作
- ③ 手振れ防止機能によりできる正確で安全な操作
- ④ 膨大なデータに基づく詳細な解析と現場へのフィードバック
- ⑤ AIによるナビゲーション、遠隔手術に結びつく夢のある将来性

これらにより、身体へのやさしさと病気の治り易さを極限まで追求した手術が行えます。

ロボット支援手術の様子



ロボット支援手術はコンソール、ペイシャントカート、ビジョンカートの3つのパートからなり、コンソールという離れた場所から術者がロボットアームを操作して手術を行います。そのため、円滑な手術遂行のためにチームの協働が大切で、外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士がそれぞれの役割を果たします。

その名の通りロボットは手術の支援をしてくれるものです。操作は外科医が行います。ロボットが自動で手術したり、暴走したりすることはありません。外科医は操作性が良いために正確で安全な手術ができます。また、習熟するのも早いです。

?ロボット支援手術のはてな?

ロボット支援手術は手術アプローチの一つであり、他に開胸・開腹手術、腹腔鏡・胸腔鏡手術があります。3者の比較を下図に示しました。ロボット支援手術は、他の2者の良いところ取りのような手術で精緻な操作ができますが、触覚がない点が欠点ですので、視覚で補いながら丁寧な手術を行います。従って、ロボット支援手術は身体にやさしく、根治性の高い手術ができますが、高度の技術も必要ですので適応は慎重に決定する必要があります。

開腹・開胸手術	腹腔鏡・胸腔鏡手術	ロボット支援手術
両目で3D視	モニターで2D視	ステレオビューワーで3D視
大きい傷	小さい傷	小さい傷
手を入れて手術	細長い器具で手術 (中では曲げにくい)	ロボット操作の器具で手術 (多関節で自在に曲がる)

「米粒もこのとおり!」

アームの先端には、360度の可動域を持つ鉗子が接続されており、体内の細部まで無理なく届きます。

Q ロボット支援手術は一番いい治療法なの?

「ロボット支援手術って本当に安全なの?」「よくわからないし不安・・・」
みなさんの様々な疑問に、お答えします!

呼吸器外科/低侵襲手術センター長
中村 廣繁 医師



Q ロボット支援手術はこれからどうなるの?

ロボット支援手術は将来性の高い手術です。コンピューター技術の発展とともに進化し、今後はAIによるナビゲーション、遠隔手術への応用が期待されます。難易度の高い手術への適応も進むでしょう。さらに、これまで手術支援ロボットはダビンチのみでしたが、国産ロボットを含め続々と新規ロボットが市場に登場し、ダビンチも単孔(単アーム)式や触覚を有する第5世代が開発されています。

Q どんな手術もロボット支援手術でできるの?

ロボット支援手術は全ての手術に適応できるわけではありません。現時点では保険適応が通っていることが大切です。また、簡単な手術にはむしろロボット支援手術は適応しませんし、進行癌など高難度の手術への適応も慎重に決定する必要があります。詳細については担当医にお尋ねください。